

来年度の杉並区教育予算について、区教委に要請

去る8月26日の要請における区教委の回答(要旨)その3 文責は杉並支部

要請に対する区への回答の続きを紹介します。この記事に対するご意見がありましたら組合にお届けください。

電力容量、コンセントについて

- ・確かにタコ足配線は危ない。当然、個別に相談いただければしっかり丁寧に対応するので、学校整備課まで問い合わせさせていただきたい。危険に絡むというものは時間をおかずしっかりとやらないといけない。

確かな学力保障のため

- ・(道徳地区) 地域保護者と一体となって教育を進めるという本区の重要な施策と重なる。
- ・(体力学カテスト) この物差しがなければそれを保障するための施策が考えられないので、その指標に使っている。学校でも取り組みの指標に使われていると思う。区の学力調査があるからいいのではないかという意見もあるが、指標の取り方が違う。区の学力調査については学年を精選した経緯もあるので必要だと考えている。ただ、負担をかけているということを考えていないということはない。負担削減についてはICTの活用を考えている。実際にタブレットを使った調査にも移行しているように、できるだけ負担がかわらないようにしている。
- ・(ウェルネスデー) これは令和2年の開催を以って既に終了している。おそらく校長部会で企画している長縄グランプリのことではないか。

研修について

- ・各学校の人材育成を支えるために教育委員会としても毎年実施体系を見直したりしている。
- ・(研修費の配当) その前に、コロナ禍の中で進んだオンライン、オンデマンドによる使途を引き続き整理することで、教員の自己研修の場がより柔軟に広がるよう努めていきたい。
- ・(初任者研修) 初任者や若手の育成や人材活用の方途は、校長会と共通理解を図り過度な負担を与えないように進めたい。
- ・(自己申告の面接) これは人事考課制度上重要な位置を占めている。むしろ丁寧にやる必要がある。自己申告といっても、要は中間申告ということになるので、こうしたことを丁寧にやらないと、むしろ最後の評価というところでトラブルになりかねない。
- ・(免許更新制の後の研修) 今後しっかりと提示されてくると考えている。過度な指導といったところが懸念されているが、教員の主体性というところも尊重すべきだと文科省からも出ているので、そうした主旨をしっかりと汲んで、東京都から説明が来て我々の方も説明していく、と受け止めている。教員にとって価値ある研修となるように努めていきたい。

変形労働制について

- ・私どもとしても、一律に全校でやるというものではないと考えている。これを適用するとした場合でも、結構現状からすると難しさはあると思っている。

業務削減について

- ・区からの連絡、通知については、できるだけ余裕を持って伝えるように工夫改善に努めていきたい。
- ・研修報告書については既に見直しを図っていて、現在も研修が複数回でも、例えばA4 1枚の報告書を一定の期間内に提出とか負担のないようにしている。今後も現状を見ながら工夫改善に努めたい。

働きやすい環境について

- ・(休養室) 働き方改革に関するものなので、改築時の新しい校舎については、原則として基本的な部屋を決める「諸元」といわれる中に「職員の休憩室、これを設置する」というようにしている。既存校については、余裕教室の活用で対応をお願いしたい。温水シャワーについては現在考えていない。
- ・(パワハラ) パワハラ、マタハラなどの様々なハラスメントについては、教育委員会としてもしっかりと対応していく。
- ・(ストレスチェック) 集団的分析結果で高い職場については各学校長へデータを提供し、自校のストレスの要因を把握して改善していただくようにしている。また、高い職員については、産業医が回るの難しいので面談指導への参加をお願いしたい。
- ・(健康診断) 例年通り継続して実施したい。変更の予定はない。
- ・(婦人科検診) 2年に1度というのは、厚労省の指針で適当であるということを受けて、杉並区民や区職員もそうしている。ご了承を。

勤務時間について

- ・休憩時間内の会議や研修は、もう有り得ない。コロナ禍の中で結構会議が削減されてきている。働き方改革の一環でC4thを使って情報伝達をするという学校が増えているという中なので、ICTを用いながら削減していくことをやっていきたい。とにかく休憩時間内に仕事を入れるということは話にならない。これはもう管理職に言っています。
- ・ただ、一部の教員が「ちょっと集まって」と言ってしまうところは若干あるのかと思う。教員自身も勤務時間についてはしっかり理解していく必要がある。その辺はまた管理職にも伝えたい。
- ・(地域行事との関連) 休日の地域行事への参加については、正式には振り替えなどは実際にはない。今まではボランティアという風潮があったけれど、そうしたことは働き方改革の中ではあり得ない、というように指導していきたい。
- ・土曜授業で地域行事と授業をタイアップするとか工夫している学校もあるが、それはやっていく必要はある。これは教員の好意でやるのではなくて、振り替えなどちゃんとやれることはやるように校長に話していきたい。

(終わり)

元のページに戻すには **パソコン画面上部の ← をクリックします。**